

男女共同参画と結婚応援、自然体験などについてのアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
ダイバーシティ社会推進課	2018年02月02日から 2018年02月18日まで	1161	745	64%

今回は、ダイバーシティ社会推進課、少子化対策課、農山漁村づくり課、広聴広報課からのアンケートです。最初に、ダイバーシティ社会推進課からお聞きします。三重県では、一人ひとりが性別にかかわらず、家庭や地域、職場において、能力と個性を十分に発揮できる「男女共同参画社会の実現」をめざし、さまざまな取組を行っています。「男女共同参画社会の実現」に向けた取組を進めるため、アンケートを実施します。

【「男女共同参画」に関する三重県のホームページ】

<http://www.pref.mie.lg.jp/IRIS/HP/>

つぎに、少子化対策課では、少子化対策の一環として結婚を希望する方に向けた出逢いの機会の提供などさまざまな取組を行っています。今後の取組の資料とするため、みえの出逢い支援に対する認知度について、アンケートを実施します。

【みえ子どもスマイルネットのホームページ】

<http://www.pref.mie.lg.jp/D1KODOMO/index.htm>

つづいて、農山漁村づくり課からお聞きします。三重県は、素晴らしい自然に満ちあふれています。三重県では、この自然を「体験」というサービスにして提供することにより、三重に人々が集まる「自然体験の聖地」を目指しています。今後の施策の参考とするため、自然体験に関する意識についてアンケートを実施します。

※「自然体験」とは、アウトドアスポーツ、トレッキング、フィッシング、自然観察、森林浴、野外キャンプ、農林漁業体験など自然を活用した体験活動のことをいいます。

(参考) 三重まるごと自然体験 <http://www.taiken.pref.mie.lg.jp/>

最後に、広聴広報課から、1年間、e-モニターアンケートに参加した感想やご意見についてアンケートを実施します。

皆様のご協力をお願いします。

■ 添付ファイル

- [トレッキングのイメージ写真](#)
- [ラフティングのイメージ写真](#)
- [SUPのイメージ写真](#)
- [マウンテンバイクのイメージ写真](#)
- [カヤックのイメージ写真](#)

■ Q1 男女平等について（社会全体）

最初に、ダイバーシティ社会推進課からお聞きします。

あなたは、社会全体（※）で、男女の地位が平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

※家庭、地域、社会をはじめとするさまざまな場面をお考えください。

合計	745	
男性の方が非常に優遇されている	62	8.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	356	47.8%
平等である	142	19.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	64	8.6%
女性の方が非常に優遇されている	16	2.1%

わからない	105	14.1%
-------	-----	-------

■ Q3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

合計	745	
同感する（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成）	26	3.5%
どちらかといえば同感する	196	26.3%
どちらかといえば同感しない	241	32.3%
同感しない（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対）	227	30.5%
わからない	55	7.4%

■ Q4 男女共同参画の推進について

今後、男女共同参画を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

合計	745	
女性の意識改革	196	26.3%
男性の意識改革	363	48.7%
女性の家事・育児の負担軽減	209	28.1%
男性の家事・育児への参画	221	29.7%
長時間労働の是正	210	28.2%
女性が自らの能力を高める機会の提供	91	12.2%
女性の参画を進める必要はない	15	2.0%
わからない	24	3.2%
その他	35	4.7%

■ Q5 女性の働き方について（考え方）

あなたは、女性が働くことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んでください。

合計	745	
結婚するまでは働くが、その後は働かない方がよい	5	0.7%
結婚して子どもができるまでは働くが、その後は働かない方がよい	23	3.1%

結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい	351	47.1%
結婚して子どもが生まれた後も、働き続ける方がよい	234	31.4%
一生働かない方がよい	1	0.1%
わからない	35	4.7%
その他	96	12.9%

■ Q6 女性の働き方について（理由）

Q5で、「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい」を選択された方にお尋ねします。なぜ、そのように考えますか。次の中から1つ選んでください。

合計	351	
配偶者の協力や理解が得られそうにないから（協力できないから）	8	2.3%
職場における育休制度等の支援制度が不十分だから（勤務時間も含め、仕事と育児を両立できないから）	66	18.8%
収入面で不安がなく、子どもが幼いうちは無理をして働く必要がないから	30	8.5%
保育園などの子どもの預け先がないから（保育環境が整っていないから）	14	4.0%
子どもが幼いうちは育児に専念したいから（専念した方がよいから）	216	61.5%
結婚や出産を機に退職する慣行があるから	1	0.3%
その他	16	4.6%

■ Q7 みえの出逢い支援の認知度について

ここからは、少子化対策課からお聞きします。

県では結婚を希望する方への支援として、結婚に対するポジティブなイメージを高める取組（＃思いやりアクション）などに取り組んでいます。

あなたは、県がこのような結婚支援に取り組んでいることを知っていますか。

合計	745	
知っている	44	5.9%
聞いたことがある	131	17.6%
知らない	570	76.5%

■ Q8 みえ出逢いサポートセンターの認知度について

県では結婚を希望する方への支援として、「みえ出逢いサポートセンター」を設置しています。

あなたは、みえ出逢いサポートセンターを知っていますか。

（参考）みえ出逢いサポートセンター：<https://www.deai-mie.jp/#1>

合計	745	
知っている	32	4.3%
聞いたことがある	110	14.8%
知らない	603	80.9%

■ Q9 自然体験の経験について

つづいて、農山漁村づくり課からお聞きします。
あなたは、三重県内で自然体験の経験がありますか。
「ない」を選択された方は、Q12へお進みください。

合計	745	
ある	320	43.0%
ない	425	57.0%

■ Q10 自然体験の内容について

Q9で「ある」を選択された方にお聞きします。
どのような自然体験でしたか。あてはまるものをすべて選んでください。
※印の選択肢は、添付ファイルに画像がありますのでご覧ください。

合計	320	
トレッキング（登山、ハイキングを含む）※	185	57.8%
川遊び	182	56.9%
ラフティング※	10	3.1%
スタンドアップパドルボード（SUP）※	2	0.6%
マウンテンバイク※	16	5.0%
カヤック※	25	7.8%
フィッシング	118	36.9%
野外キャンプ	158	49.4%
農林漁業体験	63	19.7%
自然観察	127	39.7%
その他	9	2.8%

■ Q11 自然体験の目的について

Q9で「ある」を選択された方にお聞きします。
自然体験を行った目的は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	320	
心身のリラックス、ストレス発散	163	50.9%
自然や季節の満喫	207	64.7%

子どもの情操教育	137	42.8%
体を動かすこと	141	44.1%
観光の一環	66	20.6%
その他	22	6.9%

■ Q12 自然体験の情報入手について

あなたは、自然体験についての情報を得る場合、どの手段を用いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	745	
新聞、テレビ、ラジオ	432	58.0%
雑誌	208	27.9%
ホームページ	364	48.9%
SNS（フェイスブックやツイッターなど）	141	18.9%
チラシ、パンフレット	318	42.7%
その他	37	5.0%

■ Q13 やってみたい自然体験について

あなたが、今後やってみたいと思う自然体験は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	745	
トレッキング（登山、ハイキングを含む）	320	43.0%
川遊び	132	17.7%
ラフティング	136	18.3%
スタンドアップパドルボード（SUP）	69	9.3%
マウンテンバイク	67	9.0%
カヤック	154	20.7%
フィッシング	152	20.4%
野外キャンプ	189	25.4%
農林漁業体験	166	22.3%
自然観察	244	32.8%
その他	43	5.8%

■ Q14 e-モニターアンケートに参加したご感想について

最後に、広聴広報課からお聞きします。

この1年間、e-モニターとしてアンケートにお答えいただき、三重県政を身近に感じていただけたようになりますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	745	
とても感じる	186	25.0%
どちらかといえば感じる	483	64.8%
どちらかといえば感じない	55	7.4%
全く感じない	13	1.7%
その他	8	1.1%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture

1 トレッキング（登山を含む）



3 ラフティング



4 スタンドアップパドルボード (SUP)



5 マウンテンバイク



6 カヤック

